

活動報告書

報告者氏名： 達直美

所属：三重大学教育学部附属特別支援学校

記録日：2013年2月25日

【学校の概要】・知的障害のある児童・生徒が通う特別支援学校。

- ・自閉症や発達障害のある子どもたちが通学。
- ・小学部 14 名・中学部 18 名・高等部 24 名・教員 34 名（非常勤含む）

【学校教育目標】

「社会の中で、自分らしく、たくましく生きる子どもの育成」

【目指す子ども像】

- ・自分のことが自分でできる子ども
- ・心身ともに健やかな子ども
- ・いろいろなことに進んで取り組む子ども
- ・認め合いがかかわりあえる子ども
- ・学ぶ喜び働く喜びを感じる子ども
- ・生活を豊かにしようとする子ども

【対象生徒の情報】

- ・ 学年 高等部 2 年生
- ・ 障害名 自閉症・療育手帳 B 1 を所持
- ・ 障害と困難の内容
自己選択・自己決定できない。
母親への依存心が強い。
自分の意見を人に伝えることが苦手。
自信が持てない



【本人の夢とこの 1 年間の目標】

- ・ 夢 「世界の山に登りたい...スペシャルオリンピックに出てみたい...働いてお金を貯めて楽しいことがしたい。」
- ・ 目標 社会生活体験を重ね、生活に必要なスキルを身につけ、自信を持って活用できるようになる
様々な活動場面で自己選択・自己決定できるようになる。
自分の思いや意見を伝える力を高めることができる。

【活動目的】

- ・本人につけたい力と iPad 活用の関連

本人につけたい力	iPad 活用の具体的実践内容
生活に必要なスキルを身につけ自信を持って行動する力	【一人で行けた！サポーターは iPad】 ナビ機能を活用し一人で出かけることができる。
自分の思いや考えを人に伝える力 コミュニケーション力	【楽しかったこと・うれしかったことお知らせメール】 その日出会った人・物・事の中から伝えたいことを写真や文章で伝えることができる。
自己選択・自己決定できる力	【働く人になりたい！お仕事体験報告】 自分のやりたい仕事・好きな仕事を発見することができる。

- ・実施期間 2012年6月～2013年2月
- ・実施者 達直美
- ・実施者と対象児の関係 クラス主担任

【活動内容と生徒の変化】

- ・生徒の事前の状況

・iPad 2 を活用するまでは、学校で iPpa 1 でインターネット検索や自分のデジカメで写真を撮るという ICT 活用であった。写真を撮ることには興味関心がある。自分一人で何かをするという機会は少なく、一人で外出できるのは自宅周辺くらいであった。自宅から電車で学校に通うものの一人で電車やバスに乗って出かける経験はなかった。母親が熱心にサポートすることもあり、指示待ちのところや自分で決めることができないところが見られた。また、会話においては自分の興味関心のあることを優先して話をする傾向に有り、質問されたことに返答したり、場に応じた会話はなかなか成立しなかったりするところがある。失敗をすることを気にするなど何事においても自信をもてないところがある。

- ・活動の具体的内容

1 一人で行けた！サポーターは iPad

→ マップ・サファリ・カメラ・メモ・リマインダーを活用

目的 将来の生活の質・人生の質をより豊かにするために**一人で色々なところに出かける体験**を通し自分でもできるという**自己効力感から自信**がもてるようになる。

第一ゴール 9月に東京で行われるユニバーサル駅伝への参加と兄の下宿に一人で行く。

第二ゴール 1月に東京で行われる成果報告会に一人で会場まで行く。

実践経過と様子

① 7月 校外学習…鈴鹿イオンモールとボーリングへ 公共交通機関の利用と道案内

様子…クラスの校外学習では、公共交通機関を利用し、生徒が決めた場所に出かける取り組みをしている。その計画立案で、iPad を活用して、時刻表調べ・運針表調べなど**乗り換えアプリ**の活用もおこなった。1学期に電車・バスを使って、ボーリングをいった。**サファリ**でお昼を食べる場所を**インターネット検索**し調べた。バス停からボーリング場までの経路を **ipad のナビ機能**で確認したり、楽しく過ごすクラスの友達の写真を撮ったりした。その経験を活かして、**家庭と連携**して休日に名古屋などに一人で出かけ、**汎化**できるように取り組んだ。



② 7/8月自宅から名古屋 一人で行く体験

③ 8月 静岡までの新幹線体験 母親のPTA 研究協議会にあわせて一人で行く体験



送られてきたメールと写真
 浜松駅です。浜松には、今千葉県にいるおじさんとお婆さんと月ちゃんと君くんが前に住んでいました。僕もよく浜松に来まし



様子…私と保護者の予想では、静岡で折り返し三重に戻ってくるのではないかと考えた。しかし、公園の大好きな慎平さんはナビで静岡城や駅近くの公園に行き写真を送ってきた。その結果、当初乗る予定にしていた電車にはのれなかったが…自分の駅員さんに聞き失敗を成功に変えることができた。ここでの経験がその後一人で行く自信がつき生活へ汎化していくことになるきっかけとなった。

本人の振り返り

よかったこと・頑張ったこと	次頑張ること
1、ipad を使って、行きたい所へ地図を見ていきました。 2、ipad で写真をいっぱい撮りました。 3、知らない場所で、5 時間一人で過ごしました。 4、頼まれたお土産を買えました。 5、一人で新幹線の切符を買いました。	1、富士山が撮れなかった事が残念でした。次は、富士山が見えたら、写真を撮りたいです。 2、母に何度も電話をしてしまいました。今度はメールにします。

④ 9月 第一ゴール：東京で行われるユニバーサル駅伝参加と兄の下宿訪問

一人で東京に行けちゃった！



マップを最大限に活用！



iPadのメモやリマインダーの活用！

どのように一人で行くのか...後を追っていたわけ出ない。iPadを片手にマップにピンをうち自分の位置確認しながらナビ機能を最大限に活用していた。またメモやリマインダーで大事なことを確認しながら行動できた。

15日
11時出発
名古屋で、横浜の伯父ちゃんのお家にお土産を買う。
14:20の新幹線に乗る。
東京駅に着いたら、母と兄に電話する。
東京駅で中央線に乗り換える。乗車券を取り忘れない。
兄のマンションに着いたら、電話をする。

⑤ 活動の継続 9月～12月

⑥ 12月 校外学習…鳥羽水族館 公共交通機関で現地集合と動画・写真撮影

iPadのカメラや動画を使っているいろいろな様子を記録することができた。ペンギンの散歩では写真より動画がいいと自分で判断して動画に切り替え取り組んでいる生徒がいた。またナビ機能で道順や乗る電車の確認を乗り換えアプリですることができた。

⑦ 1月 第二ゴール：東京で行われる成果報告会への参加 会場まで一人で行く体験

ナビ機能・メール



念願の富士山が見れました！富士山の写真です。雪がいっぱい積もってました。



2013/01/26 (土) 9:08

魔法のプロジェクトへ行くよ！

名古屋～東京の7時53分発の新幹線に乗りました。のぞみ208号の13号車の18番のE席に座りました。窓の外を見て、公園と富士山と浜松のホテルを見つけました。

⑧ 2月 友達と外出 松阪市こどもの城 公共交通機関の利用

友達とでかけてるよ！2013/01/19(土) 17:59



みんなの写真です。イオンモール鈴鹿へいろんなゲーセンや BOOKOFF ラーメン屋さんに行きました。みんなはバスで、白子駅まで、行きました。

余暇活動で友達と外出！生活への汎化

⑨ 3月 校外学習…伊賀市忍者屋敷など 公共交通機関利用とオリエンテーリングを予定

成果...今まで一人で公共交通機関を利用して出かけたことがあまりなかったので、最初は保護者もどこまでできるか半信半疑でした。しかし、学校で社会生活で公共交通機関の利用を勉強したり、クラスの校外学習で年間計画をたて、学期ごとにステップアップして公共交通機関を使って活動したり、iPadでのナビ機能・マップ・メモ・検索・乗り換えアプリなどを学習して、夏休みからチャレンジすることができました。名古屋...静岡...東京と新幹線等も利用でき本人の満足感...「自分でもできる！」という自信ができました。まだまだかだいになることはありますが今では iPad は本人にとってなくてはならない物です。

2 楽しかったこと！うれしかったこと！お知らせメール→メール・カメラ・動画

目的

- ・いろいろなことに興味関心が広がる。
- ・自分の気持ちの表現ができるようになる。
- ・メールを通して文章構成力がつく

方法

- ・毎日持ち帰り、気に入った人・物・事にであったときに写真を撮り添付し、その時の気持ちをメールする。
- ・受け取った教員から書かれている内容に対しての感想や質問を投げかける。また文章に対して適切な書き方を返信する

初めてのコインロッカー
2012/09/01(土) 13:10

添付された写真



メールの文章

- ・初めて、コインロッカーを使いました。300円でした。便利です。
- ・これからパソコン教室に行きます。帰りに祖母の家へお泊まりに行くので、お泊まり用の荷物をコインロッカーに預けました。重たいものを持ち歩かなくていいので、便利です。

パンケーキ！つくったよ！

2013/01/14(月)

おいしいパンケーキを作りました。
朝のニュースで、発表をします。



朝の会でスクラップも発表できました。



メールのやりとりを通して会話に！

From: 慎平
To: 達直美



• ipadでインターネットや地図で浜松の温泉を出して、見つけました。東海道新幹線の線路の近くです。僕が東京や横浜に行く時、新幹線の窓の外を見て、見つけました。

From: tsuji
To: 慎平

• 慎平さん
• 温泉は温泉湯ですね
• 津にもあるのでよくなります。

• いい温泉を探しましたね。
• いいお湯でしたか？

• 新幹線の中から見えるんですね。
• 今度私も探してみますね。
達

相手の事を受け入れて返信！...成功体験に！

メールのやりとり件数

456件

(8月4日～2月25日まで)

ことばの表出

「ooですねえ」「ooしたいですね」など自ら話をする機会が増えてきた。校外へ一人で出かけられるようになり自信がことばの表出にもいい影響を与えている。取り組みの相乗効果があるように思う。会話のやりとりにはまだ経験を積む必要がある。

★漢字検定

→

3 働く人になりたい！お仕事体験報告！ → メール・写真

【目的】・自分のやりたい仕事・好きな仕事を発見する

【背景】・就労体験の少ない現状を解決するために、保護者の要望で、長期休業中や土・日に日中一時支援の活用や保護者が懇意にしている事業所で仕事を体験することになった。

【方法】・お仕事体験をした日にその時撮った写真や仕事内容や思ったことをメールしてもらい、悩んだことや困った事へのサポートができるようにした。

goen でのお仕事体験



先生へ

こんばんは。昨日名古屋の金山へ goen の実習に行きました。

- 金山総合駅と名鉄電車から見た温泉の写真を送ります。
- goen で掃除の実習をしました。
- 今日は数学と漢字のドリルをしました。

自分の関心のある写真がとても多い。困ったことがわからないというところも課題のひとつ

ヤマトでのお仕事体験



1日目…朝 8 時ごろに家を出ました。友達とヤマト運輸へお仕事に行きました。荷物をベルトコンベアーに乗せました。午後は冷蔵庫の保冷剤を出しました。箱を入れる、棚を組み立てました。9時半～3時半までしました。うまくできて、楽しかったです。

2日目…今日は重い箱をベルトコンベアーに乗せました。パイロゲンと言う、液体の入った箱です。10、5度の寒い部屋で荷物を乗せました。気持ちよか

かったです。お昼は食堂でラーメンを食べました。今日はちょっと疲れ
ました。

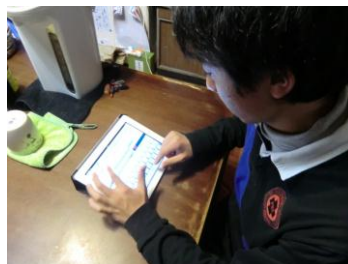
【成果】・自分のやりたい仕事は何かではなく苦手なことがわかってきた。また「働く人になりたい」という自らの言葉がでてきた。

- ・ **ipad** で様子や写真をメールしてくれるので、その日の様子がよくわかり、困ったときや緊急性のある時へのサポートができる体制が整った。
- ・ 写真などで作業を振り返ったり、覚えることをメモしたりできた。

【課題】・理解ある職場であると振り返りの学習のために写真を撮っておくことは有効であるが現場で写真を撮ることには許可がいることが多かった。操作的にも iPad miniなどで写真を撮り、メール送信がその場でできるものなどが有効であるのでは無いかと思う。

4 家庭学習との連携…宿題をサファリで→ **サファリ・写真・学習アプリ**

家庭学習…宿題を検索・電子図書



【成果と課題】学習のすべてを ICT 機器で行う必要はないと思う。調べたことを自分で書くということも記憶に残ることでありし、達成感を感じるものでもある。ワークシートを用意して調べたことを書き留め、まとめることで今やるべきことやその目的も意識でき、知識もついてきた。学校の教育課程上、自立活動の時間が少なく、個々の基本となる学習力を培う時間がないので、家庭との連携で自宅学習で補っていくことが必須である。そのための関わりもこのプロジェクト参加で増したように思う。本人は、国語・数学のいいアプリを活用したかったが本人にあるものは少なく漢検・数検にチャレンジした。

【コミュニケーションの成果】

- ・短いながらも自分の言いたいことを伝えるようになってきた。文きり調の表現に対しては「丁寧な言葉で伝えよう」、主語述語がハッキリしないときには「人によく伝わるように」具体的な記述がないときは「何が？」と本人が気づくように言葉かけや修正文をメールで送るやりとりをしてきた。
- ・普段自分の興味関心の出来事中心に一方向的に話していることが多かったが、クラスの活動を行う際に躊躇している生徒に対して「〇〇さん！一緒に〇〇しましょうよ！」など自ら関わりを求める会話が増えた。
- ・メールのやりとりでお仕事体験や外出支援に繋がり、自信を持てたことから自らの会話が増えてきた。
- ・自信がついた成果は 公共交通機関の活用で述べたとおり。

【報告者の気づき】

- ・ iPad は、使うことを目的にするのではなく、何のためになぜ使うのかを明確にする事が必要であり、学校から生活への汎化が求められるところである。本人自身が何に使うのか、何のために使うのか、自身の興味関心をもとに繋げたことで、自ら発見しながら活用する姿があった。教えなくても自ら探し出し、見いだす姿や私たちの予想を反する姿も見せてくれた。一人で出かけるための取り組みが現在は友達と出かけるという活動に汎化しているところを今後活かしたい。
- ・ 送られてくる写真や文章をみて今関心を持っている物・事・人がわかり新たな一面をみることができた。その興味をさらに学習活動に活かしていくことが必要である。
- ・ メール作成において、送られてくる文章で、国語の学習で今どんなことにつまづいているか、どんな学習が必要かなど課題が明確になった。さらにその課題を学習で補っていきたい。
- ・ 保護者との連携も密になり支援の方法を話し合うこともできた。今後は身につけさせたい力を焦点化してそこに iPad 等の ICT 機器をサポートする一つのツールとして活用していきたい。
- ・ 文章力をつけるために、今まで字を書かせて取り組んでいた。子どもたちの多くに字を書くことが苦手な実態がある。苦手なことを強要しながら、文章構成を教えていたのでは、子ども自身のモチベーションが高まらなかったが興味関心のあるメールでのやりとりで力をつけることも可能であると実感している。

【まとめ】

iPad の良さは、何か…。〇〇する・〇〇できるではなく、使い手が関心を持つところで自由に使える良さ、支援する側が予想しない部分がひきだされるよさが魔法なのかもしれない。その良さを引き出すためには、支援する側の固定概念の脱却や引き出すための技術も必要である。私自身の活用技術を今後さらに身につけ、子どもたちの未来に繋げたい。

★2年間の継続させていただき感謝している。学校でまだまだ浸透していないところはあるが、冬休みに活用してもらった先生方や iPad を活用している保護者にアンケートを採ることができた。その結果は別紙に添付する。結果、保護者と教員の捉え方の差異など乖離しているところが見いだされた。この結果を学校の教員に配布して各自が保護者の願いに気づいてもらうことが必要だと考えている。3月に教員向け・保護者向けの研修会を開催できることも一つの成果であるので、次年度に向けてさらに理解啓発していきたい。

